

# 救急救命／救急車対応

## 目的

1. 英語で救急救命の方法を学ぶ
2. 救急隊員の補助方法を学ぶ

## はじめに

### ゲスト講師の紹介

状況とポイント（英語で対応しながら正しく手順が踏めるか）

## 心肺蘇生法/AEDの使い方

下記は、アメリカ赤十字社の指導に基づくものです。

### 心肺蘇生を行う前に

1. 現場が安全であることを確認し、傷病者の方を叩きながら、大きな声で「大丈夫ですか？」と呼びかける。
2. 周囲の人に119番通報とAED搬送を頼む。
3. 気道を確保する（頭を後ろに傾け、顎を少し持ち上げる）。
4. 呼吸を確認し、していない場合は心肺蘇生を始める。

### 心肺蘇生

1. 両手を重ねて胸の真ん中に置く。体重をかけるようにして1分100回のペースで胸骨圧迫を行う。
2. 人工呼吸を行う。鼻をしっかりとつまみ、相手の口を自分の口でしっかり覆い、空気がもれないようにする。相手の胸が膨らむように息を吹き込む。
3. 人工呼吸2回＋胸骨圧迫30回のサイクルを繰り返す。

### AEDの使用

1. 生きていることが確認できる（呼吸など）まで、またはAEDかプロの助けが到着するまで胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返す。
2. AEDの電源を入れる。
3. 胸を拭いて乾かし、パッドを貼り付ける。
4. 自分も含め、誰も傷病者に触れていないことを確かめる。
5. 全員に「離れてください」と伝える。
6. 必要に応じて解析ボタンを押し、AEDに心電図解析させる。
7. AEDからショックの指示があったら、4と5を繰り返す。
8. 「ショック」ボタンを押し。

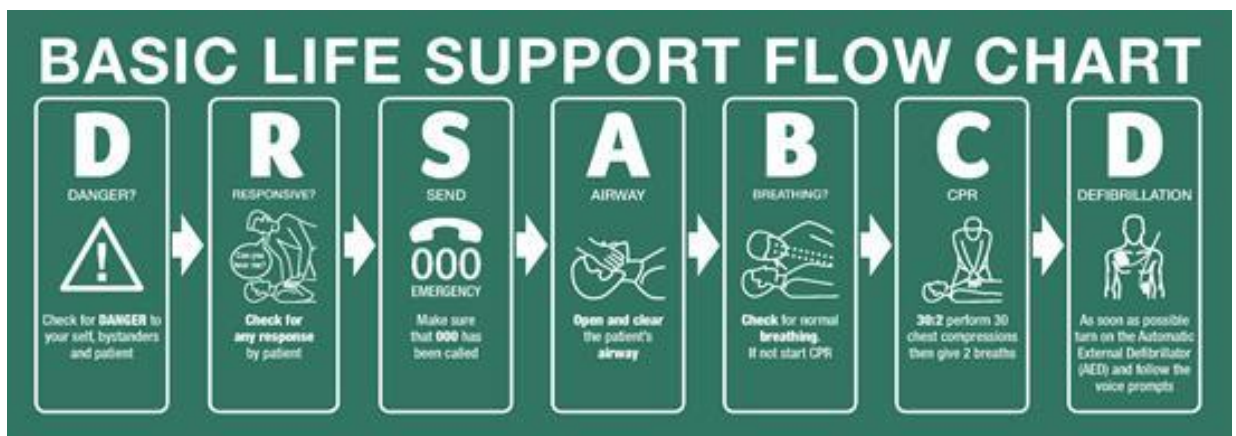
## 表現

## 心肺蘇生

- 肩を叩きながら大声で：“Are you OK?”（大丈夫ですか？）
- 大声で助けを求める：“Help!”（助けてください）
- そばにいる人に具体的な指示を出す：“Call 119!” / “Get an AED.”（119番通報してください／AEDを持ってきてください）

## AEDの使用

- Stand clear / Clear!（離れてください）



## 救急救命の実践トレーニング！

## シナリオ：

さんさ踊りで国際パレードに参加しているあなた。外国人参加者の1人が路上で急に倒れました。呼吸をしていません。あなたは心肺蘇生ができます。このパレードには盛岡在住の外国人も参加していますが、日本語はわからないようです。

## 救急隊員の補助

傷病者が意識があり、心肺蘇生は不要なものの、緊急に治療が必要な場合があります（深刻なケガ、熱中症など）。そんなときは、救急車を呼ぶ必要があるかもしれません。

救急車を呼ぶ前に、事前に確認できること：

- 症状（どこが痛いか、いつからか、何をしているときか）
- 体を起こせるか、動けるか、歩けるかなど
- 救急車が必要かどうか（無料で利用できることを伝える）

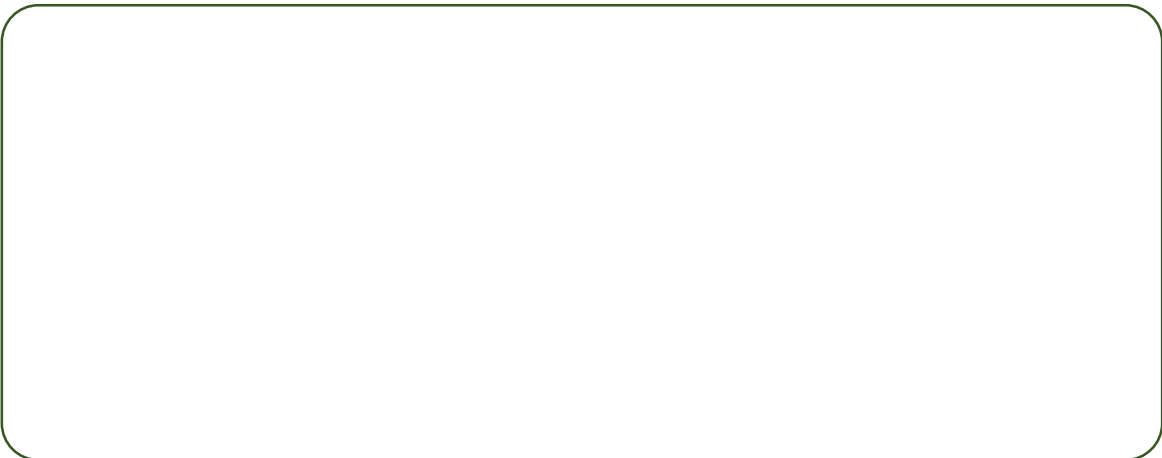
救急車を呼んでから：

- 不安やストレスを取り除く
- 落ち着かせる

救急車到着後、救急隊員が知りたいこと：

- 傷病者の氏名（正しいスペルで。またはIDを確認）
- 生年月日、連絡先、国籍
- 居住者か一時訪問か
- 居住者の場合は、住所と連絡先
- 今病院にかかっているか
- 服用中の薬

注：日本の救急車や医療費のことを知らないために、搬送を拒否するケースもあります。そのような場合、どう対応しますか？



## ロールプレイ

3グループに分かれます。各グループに救急隊員1名と外国人1名が入ります。 .  
次の3つのケースのうち2つをロールプレイします：

### ケース1 - 子供がアレルギーでアナフィラキシー発症

避難所で男性が幼い娘を抱きかかえている。女の子は昼食に食べたものに反応したのか、紅潮し、呼吸が辛い様子。

2人は盛岡に住んでいて、保険はある。時々抗ヒスタミン薬を服用するが、体重は15kg未満なのでエピペンを持っていない。定期的に盛岡こども病院を受診している。

### ケース2 - 熱中症

先ごろの洪水で被災した家屋でボランティアをしている男性。

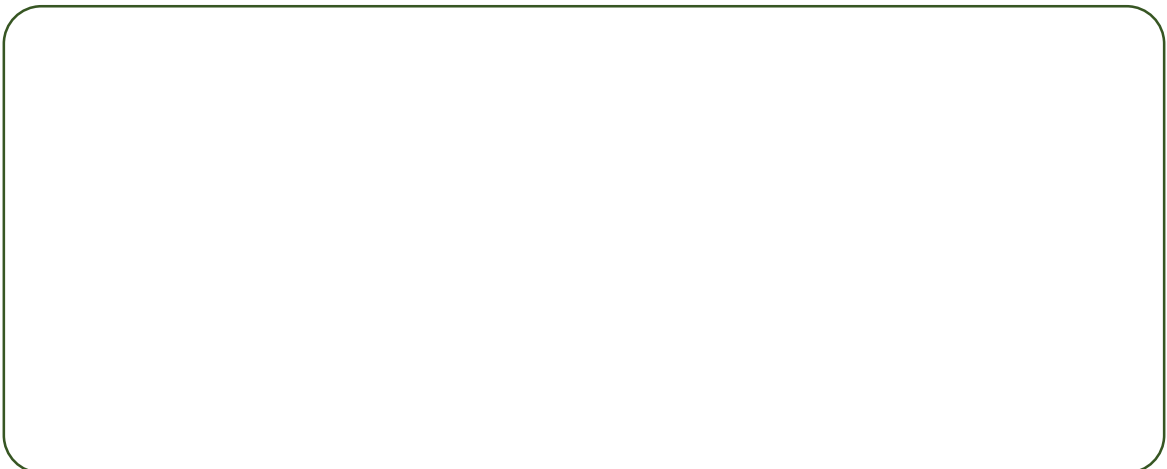
記録的な猛暑日で、男性は休まずに作業していた。突然気を失い、その後は体を起こすこともできなくなった。

彼はスペインから来た救援隊員で、旅行保険がある。  
普段は頑丈で健康であり、何年も医者にかかっていない。薬も服用していない。

### ケース3 - 交通事故

岩手県庁前で交通事故を目的したあなた。女性が路上に倒れている。

出血はしていないが、体を動かすことも起こすこともできないようだ。彼女は盛岡在住で、盛岡で働いている。身分証や連絡先はバッグの中にある。



# 災害関連情報の通知

第3回では、英語スピーカーに重要な災害関連情報を伝えるための、翻訳、ならびに文章による伝達スキルを学びます。

次の2つの例を、日本語を話さない人が理解できるように訳してください。

1. 災害ダイヤル171で安否確認ができます。
2. 雫石全域に土砂災害に関する避難勧告を発令しました。土砂災害の危険性が高まっています。速やかに避難を始めてください。避難場所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。